

～福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部は地域・社会へ  
貢献したいと考え、地域から愛される大学づくりを目指しています～



本学、地域・国際交流センターは、地域社会や学外機関との連携活動並びに国際交流活動を推進することで、本学の社会連携と地域貢献を活性化させるとともに、本学学生が国際的視野に立ち、主体性を持って学び続け、多様な人々とつながりを創出し、また学び直しを通じた社会人の人生の充実を目指して運営しています。地域・国際交流センター【地域貢献】NEWSでは地域貢献関連活動の紹介を中心に情報を発信していきます。

## 地域・世界とのつながり

福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部は既存の3センター（国際交流センター・生涯学習センター・地域貢献センター）を統合し、2022年度より地域・国際交流センターを開設いたしました。ホームページの「大学のヴィジョン」にも記されていますように、福岡女学院大学は「つながり」を大切にしています。これを私たちの地域・国際交流センターにあてはめて考えますと、その一つは世界の様々な国や地域とのつながりです。そしてもう一つは人々の学びたいという思いと本学とのつながりです。そして最後の一つは、地域とのつながりです。Sonyの故盛田会長は“Think globally, act locally”と述べておられたのはよく知られていますが、地域と世界とのつながりを担うセンターとして、地域・国際交流センターは今後も様々な形で本学の学生の国際交流活動や地域との連携活動に取り組んでまいります。



地域・国際交流センター  
センター長  
能勢 卓

現在まで本学は、合計で18の協定または提携を結ばせていただきました（連携事業数内訳：自治体7、教育委員会4、産業界6、NPO法人1）。様々な連携事業活動を実施させていただいておりますが、例えば朝倉市との観光マップの英語訳作成の活動には人文学部・人間関係学部・国際キャリア学部の学生が参加し、また古賀市の子育て支援に関するアンケートの多言語翻訳（ネパール語、ベトナム語、英語への翻訳）の活動には本学の日本人学生だけではなく留学生も参加し、そして那珂川市でのEnglish Dayの取り組みには短期大学部の学生が参加させていただきました。このように福岡女学院大学にある3つの学部ならび福岡女学院大学短期大学部の日本人学生たちだけでなく、本学で学んでいる留学生たちも地域との連携事業活動を通して実践的学びを得る機会を持つことができ、そしてこの連携事業を通して地域の皆さまの活動に何らかの形で貢献できていることは大変意義深いものだと考えております。今後とも地域に開かれた大学として、地域と本学と様々な世界とのつながりに貢献していくことができますよう福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部地域・国際交流センターとして業務に取り組んでまいります。

## 地域貢献部門での主な取り組み

### ○ 地域共催プログラム ○

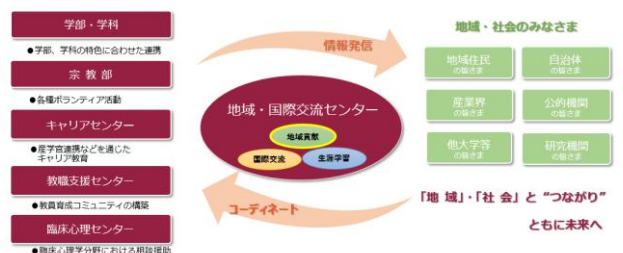
自治体と協力し、地域に向けた教育プログラム講座を実施

### ○ 受託事業 ○

企画段階から相談者と連携し、  
体制づくりや教員とのマッチングをコーディネート

### ○ 学生ボランティア派遣 ○

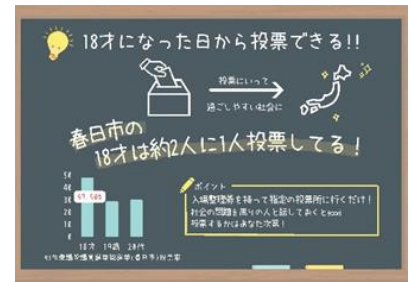
学習効果を望める地域貢献活動への、積極的な学生募集と派遣



春日市 >> 若者の主権者意識の醸成

2021年12月に春日市選挙管理委員会事務局より、「春日市内の若者の主権者意識の醸成および投票行動促進」という課題について協力依頼があり、人間関係学部心理学科 藤村先生の協力のもと、心理学の知見を活かして2022年度は2つの連携事業に取り組みました。

①若者の投票率向上のために配布する、新成人（18・19才）に向けた選挙啓発チラシのデザインを本学学生が担当しました。



新成人向けチラシ

②2022年度の大学人間関係学部心理学科の前期の授業

「心理学フィールドワーク(キャリア)A」課題解決型のPBL学習

5月よりゲスト講義や春日市議会への訪問等を通して学んだことを活かし、集大成として、8月1日に学生による最終報告会が本学で行われました。6グループより「ポスターの活用」「ナッジ理論の活用～EASTの視点から～」「動画Tiktokの活用」「選挙割の実施～古賀市の事例から～」「共通投票所」「春日市の取り組みと少年議会」をテーマに広報や選挙割、共通投票所、主権者教育などについて課題解決策の提案を行いました。発表後は学生の報告内容について春日市の選挙管理委員会、議会、教育委員会、本学関係者と意見交換を行い、課題解決に向けた双方の考えを共有しました。今回の取り組みを通し、若い世代である学生たちにとっても改めて選挙について考える貴重な経験になりました。



選挙管理委員会・議会事務局によるゲスト講義



議会訪問・議員さんへのインタビュー



課題解決のための春日市への事業提案報告会

福岡市南区 >> こども大学

「南区こども大学2022」は、包括連携協定先である南区が区内及び周辺部に立地する7つの大学・短期大学と区役所が合同で、楽しみながら学べる小学生向けの体験講座を開講するイベントです。

このイベントの一環として、7月29日（金）に「短歌をつくろう」を開催しました。

講師は本学准教授の桜川冴子先生です。当日は15名の小学1～6年生が参加し、短歌の5・7・5・7・7のしくみや比喻、オノマトペの使い方、「福岡女学院短歌コンクール」の優秀作品を見るなどの活動をおして学びました。実際に短歌を作成する場面では、一生懸命、言葉を取捨選択して短歌をつくっていました。はじめてつくった子どもたちも多数。完成し、先生に褒められたときはとても嬉しそうにしていたのが印象的でした。



最後には完成した短歌を本学の「短歌ポスト」に笑顔で投函しました。

## 各包括連携先に関わる主な活動

包括連携先	活動時期	内容
朝倉市	5月18日 5月～8月	・包括連携協議会実施 ・原鶴湯めぐりマップと秋月さるきマップ（一部）の施設説明の英訳ボランティアに学生5名が参加（P.4参照）
福岡市 南区	6月10日 7月29日	・2022年度第1回 南区大学連絡会議 ・桜川先生が「南区こども大学2022」で講座を担当（P.2参照）
小郡市	6月29日 通年	・保育実習改善に向けた保育実習担当教員との意見交換会の講師を本学教員が担当 ・学校支援ボランティア・学び場支援スタッフ ボランティアへの学生参加
古賀市	6月～8月 7月～	・古賀市の「子育て支援」に関する市民向け文書を英語、ベトナム語、ネパール語に翻訳するボランティアへ学生2名、留学生4名が参加 ・言語芸術学科：文屋先生が第5次古賀市総合計画の総合政策検証会議の委員を担当
春日市	2月～5月 6月5日 6月3日・7月22日 5月～8月	・新成人を対象とした選挙啓発チラシを昨年度「デジタルワークショップ」で活躍した学生1名が制作（P.2参照） ・春日市商工会女性部主催音楽イベントのため本学ギール記念講堂等の施設を貸出 ・学校における危機管理モデルの構築に関する協議会を実施 ・若者の主権者意識の醸成および投票行動促進に関する課題解決に向け、心理学科藤村先生の授業「心理学フィールドワーク（キャリア）A」と連携（P.2参照） →ゲスト講義やこれまでの春日市との連携についてRKB毎日放送から取材を受ける（放送：5月25日【ミライアングル】）
粕屋町	通年	・かすやこども館運営協議会の委員を本学教員が担当
篠栗町	5月～ 5月29日	・国際キャリア学科を中心とした外国語観光マップ作成等の連携活動開始 ・福岡県防災訓練に伊藤学長が出席
大野城市教育委員会	通年	・ランドセルクラブ・ヤングアドバイザーへの学生参加
那珂川市教育委員会	7月18日 通年	・小学生対象の「イングリッシュデイ」に短期大学部2年生4名が参加（P.4参照） ・ヤングアドバイザーへの学生参加
鳥栖市教育委員会	6～7月下旬 6月～	・伊藤学長が鳥栖市教育委員会事務点検評価を担当 ・鳥栖市立鳥栖中学校で学生がボランティアに参加
佐賀市教育委員会	通年	・能勢 地域・国際交流センター長が令和4年度の佐賀市教育委員会評価委員を担当 ・幼保小接続期プログラム連携に本学教員が参画
認定NPO法人 未来創造ハピネス	6月3日・7月22日	・春日市教育委員会を含めた三者による、学校における危機管理モデルの構築に関して協議会実施
NKコンサルティング	5月16日	・篠栗町と国際キャリア学科との連携開始に向け、篠栗町との打ち合わせ等、連携調整
九州テレ・コミュニケーションズ株式会社	6月～	・メディア・コミュニケーション学科と連携した事業実施に向け打ち合わせ・スタジオ訪問

地域貢献部門の活動状況を掲載中！

こちらから大学ホームページをご覧ください



リンク：【[地域貢献活動状況](#)】



## 学生ボランティア

包括連携先を中心に地域から依頼されたボランティア活動を紹介、学生を派遣しています。8月現在、50名近くの学生がエントリー！昨年度から継続している人、今年度から初めて参加している人、学年や学部学科も様々で、新たな出会いの場になると同時に、夢や目標に向けた第一歩として活動に励んでいます。大学では感じることをできない、現地での活動も多数！活動をとおして積極的に学んでほしいと思います。

### 観光サイトの英訳<朝倉市>

朝倉市の地域の観光や食、農産物を紹介する観光ポータルサイト「秋月さるきマップ」の英訳に2020年度から学生たちが継続して取り組んでいます。QRコードを読み取るだけでポータルサイトにリンクし、その施設・店舗の商品画像やメニュー画像を見ることができます。多くの外国人観光客に利用いただくと嬉しいです。

現在新たに「原鶴湯めぐりマップ」の英訳に、現代文化学科、心理学科、国際英語学科の1～3年生の学生5名が取り組んでいます！英訳した内容は教員のチェックもあり、外国の方に伝えるにはどんな表現が適切か、学びにもつながっています。



原鶴湯めぐりマップ



秋月さるきマップ



### イングリッシュデイ<那珂川市教育委員会>

2022年7月2日・9日、本学の包括連携先である那珂川市教育委員会が主催する「イングリッシュデイ」に、昨年度に引き続き短期大学部から2年生4名が参加しました。小学生がALT(外国語指導助手)と一日中英語でコミュニケーションを図るイベントで、今回は昨年度の好評につき、多くの小学生に参加してもらうため、2日間にわたり開催されました。

宝探しなどのゲームで交流し、最後には学生から英語を使って将来どんなことをしたいか、夢を語りました。遠隔でのイベントではありましたが、プログラム中は笑い声が絶えず、とても充実した一日となったようです。



#### 学生の声

自分自身も英語の楽しさを再確認できました。とても充実した二日でした。参加してよかったです。

### その他現在参加中のボランティア

○小郡市○

- ・学校支援ボランティア
- ・学び場支援スタッフ

○春日市○

- ・須玖小学校花壇づくり
- ・日の出小学校 特別支援学級 児童支援

○古賀市○

- ・市民向け行政文書の多言語翻訳

英語、ネパール語、ベトナム語翻訳活動中！

○那珂川市教育委員会○

- ・ヤングアドバイザー

○大野城市教育委員会○

- ・ヤングアドバイザー
- ・ランドセルクラブ

### ボランティアやセミナーの情報を随時公開！

包括連携先を主軸とし、学生の学びにつながる多種多様なボランティアやセミナーの案内を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。

メール・Mission-Net掲示板、地域・国際交流センター前の貼り出しチラシをお見逃しなく！

